


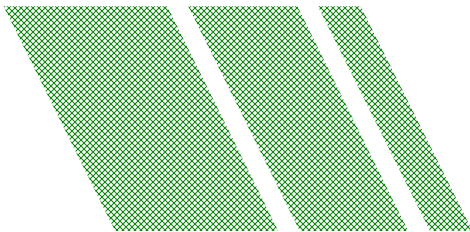


施行成績評価について

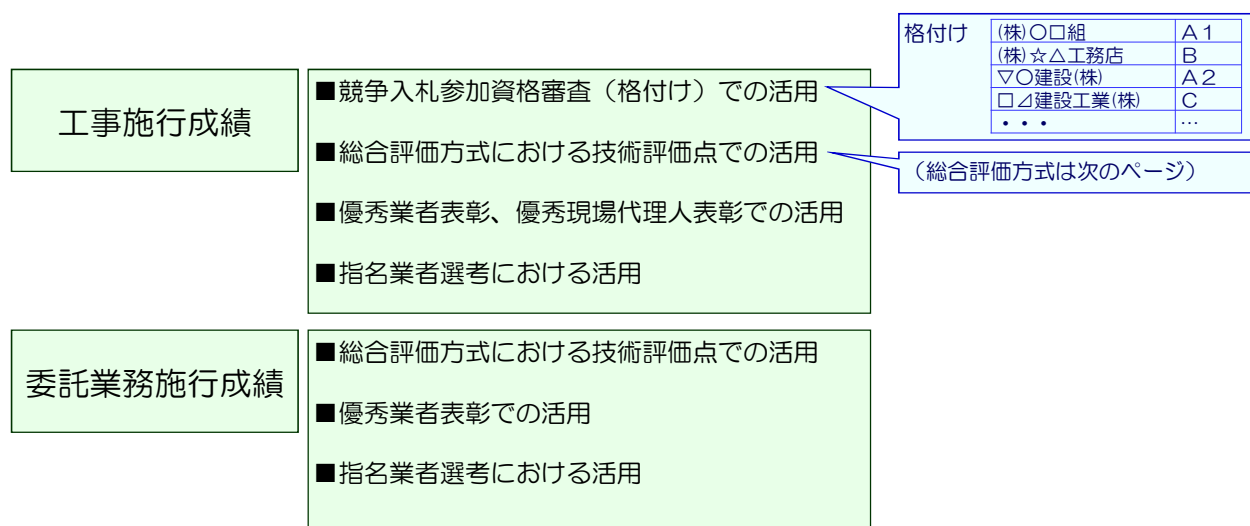
-  施行成績評価の重み
-  みなさんが施行成績をつける時には. . .
-  (参考)昨年度の施行成績の状況



北海道 建設部 建設管理課 技術管理係
主査（品質確保）

北海道建設部における施行成績の活用

2



業者にしてみれば、
次年度以降の工事・委託業務の受注を左右する！

公共工事を取り巻く状況

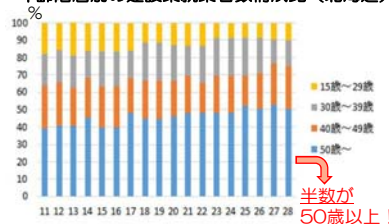
【北海道の社会資本整備を取り巻く状況】

- 広大な面積や厳しい気象条件等の本道の特性
- 人口減少社会への対応
- 厳しい道の財政状況
- 災害リスクの高まり
- 社会インフラの老朽化
- バックアップ機能の強化
- 道の技術職員の減少等

【北海道の建設業を取り巻く状況】

- 建設投資額の減少、道内建設業事業者の減少及び高齢化の進行など厳しい経営環境
- 社会資本の維持、災害時における対応、雇用や地域の活性化など重要な役割を担っている

年齢階層別の建設業就業者数構成比（北海道）



北海道土木技術職員の年齢構成（H29現在）



公共工事の品質確保の意義

品質確保の意義

- ・就労環境の悪化に伴う若年入職者の減少、建設生産を支える技術・技能の継承が困難、発注者のマンパワー不足など、将来にわたる公共工事の品質確保とその担い手の中長期的な育成・確保に関する懸念の高まり
- ・災害対応を含む地域の維持管理を担う建設業者が不足し、地域の安全・安心の確保に支障を生じるおそれがあることへの懸念

こうした状況に対応するため、将来にわたる公共工事の品質確保とその担い手の中長期的な育成・確保を図るための取組を、より一層進めていく必要がある

不良・不適格業者の参入

厳しい財政状況

談合

担い手不足・若手入職者減少

地域の維持管理体制への懸念

ダンピングの増加

施工不良の増加

働き方改革・生産性向上

災害時の緊急対応強化

発注者のマンパワー不足

品質低下の懸念

持続可能な事業環境の確保

～公共工事の特徴～

すべて注文生産であり、完成まで品質の評価が困難

総合評価落札方式の導入

『価格のみの競争』から『価格と品質で総合的に優れた調達』への転換

◆経済性に配慮しつつ、価格以外の多様な要素も考慮し、価格及び品質が総合的に優れた内容の契約がなされることが重要

◆価格に加えて技術提案の優劣等を総合的に評価し、最も評価の高い者を落札者とするのが原則（総合評価落札方式）

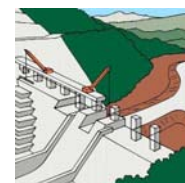
期待する効果

- ・公共工事の品質の確保
- ・施工不良や工事の安全性の低下、一括下請負等の不正行為の未然防止
- ・不良不適格業者の排除
- ・技術と経営に優れた企業が伸びる環境の整備

北海道においても、品確法^(※)の基本方針に基づき、総合評価落札方式を試行

(※ 「品確法」：公共工事の品質確保の促進に関する法律)

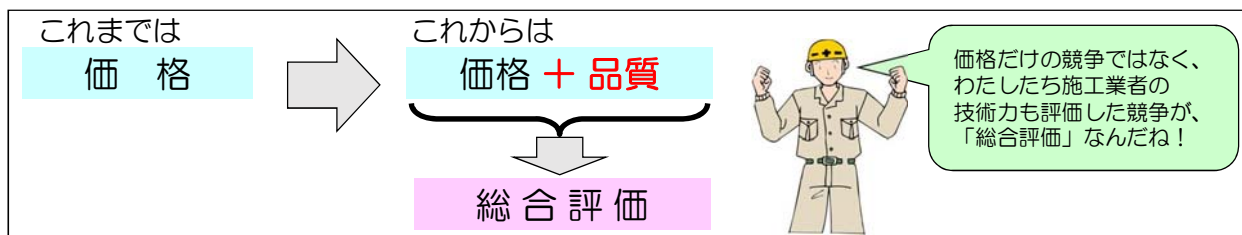
良質なモノを適正な価格で！



●総合評価落札方式とは、価格だけで評価していた従来の落札方式とは異なり、品質を高めるための新しい技術やノウハウなど、価格に加えて**価格以外の要素**を含めて、**総合的に評価する新しい落札方式**のことです。

●**価格と品質の両方を評価**することにより、**総合的に優れた調達（購入）**を行うことが可能となります。

●総合評価方式における「**品質**」とは、工事の目的物（道路や橋など）そのものはもとより、工事の効率性、安全性、環境への配慮など、**工事の実施段階における様々な特性**も含まれます。



企業からの技術提案

- 性能、機能などの向上に関する提案
- 技術の実績や実施体制（企業の施工能力）
- 地域への精通度、貢献度 など

技術提案の内容は、評価項目ごとに、あらかじめ定められた方法によって、点数換算

数値化

技術点 + 価格点 = 評価値

数値化

価格が安いほど、評価値は大きくなる！

(例)

- ・予定価格と同額 ⇒ 20点
- ・低入札調査基準価格と同額 ⇒ 30点
- ・低入札価格未滿 ⇒ 30点

評価値が最も大きい者 ↓ 落札者

A社の場合

技術点: 24点
価格: 1.31(億)

B社の場合

技術点: 20点
価格: 1.30(億)

どちらの評価値が高いかな？

A社の評価値 = 46点
B社の評価値 = 43点

よって、**A社が落札！**

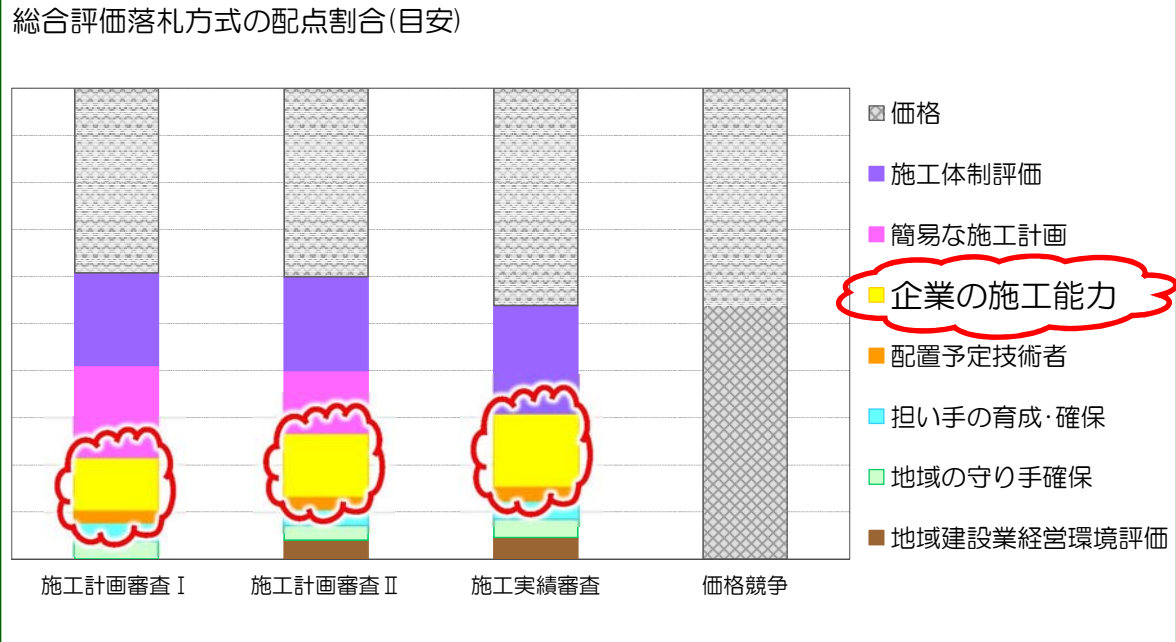
このように、総合的に優れた企業が選定されることで、住民の方々にとってより満足度の高い公共工事の実現を目指す。

道の簡易型総合評価落札方式での評価項目と配点

技術評価項目		施工計画審査 タイプⅠ型		施工計画審査 タイプⅡ型		施工実績審査 タイプ	
		配点	小計	配点	小計	配点	小計
簡易な 施工計画	①工程管理に係わる技術的所見	5.00	15.00	5.00	10.00 2項目指定		
	②品質管理に係わる技術的所見	5.00		5.00			
	③施工上の対処すべき技術的所見	5.00		5.00			
企業の 施工能力	工事施行成績	7.50	8.50	7.50	10.25	7.50	10.25
	北海道建設部工事等 優秀者表彰	0.50		0.50		0.50	
	建設管理部工事 優良企業表彰	0.50		0.25		0.25	
配置予定 技術者	ISOマネジメントシステムの取得	0.50	2.00	0.50	2.00	0.50	2.00
	地域精通度（施工実績）	1.00		1.00		1.00	
	主任（監理）技術者の資格	0.50		0.50		0.50	
担い手の 育成・ 確保	主任（監理）技術者の継続教育	0.50	3.00	0.50	2.50	0.50	2.50
	主任（監理）技術者の建設管理部 優秀現場代理人表彰	0.50		0.50		0.50	
	技術者の追加配置	0.50		0.50		0.50	
地域の 守り手 確保	技術職員の育成・確保	0.50	3.00	0.50	2.50	0.50	2.50
	①又は②の 大きい方	0.50		0.50		0.50	
	①若年技術職員の育成・確保 ②技術職員総数の確保	0.50		0.50		0.50	
地域の 守り手 確保	新規の雇用	2.00	3.00	1.50	2.50	1.50	2.50
	労働環境改善	2.00		1.50		1.50	
	雇用環境への取組	2.00		1.50		1.50	
地域の 守り手 確保	高年齢者継続雇用	2.00	3.00	1.50	2.50	1.50	2.50
	女性の活躍支援	2.00		1.50		1.50	
	地域技能士の活用	2.00		1.50		1.50	
地域の 守り手 確保	地域独自設定項目（各発注機関が独自に設定できる）	2.75	3.00	2.25	3.50	2.25	3.50
	地域の安全・安心貢献度	2.75		2.25		2.25	
	主たる営業所の所在地	2.75		2.25		2.25	
地域の 守り手 確保	災害時の協力等	0.25	3.00	0.25	3.50	0.25	3.50
	緊急時の応急措置の実績	0.25		0.25		0.25	
	公共施設の維持管理の実績	0.25		0.25		0.25	
地域の 守り手 確保	地域企業の活用	2.75	3.00	2.25	3.50	2.25	3.50
	※地域の実情により、適用1、適用2を選択	2.75		2.25		2.25	
	適用1 地域内企業の活用比率 適用2 地域内企業の活用計画	2.75		2.25		2.25	
地域の 守り手 確保	地域人材の活用	2.75	3.00	2.25	3.50	2.25	3.50
	多様な雇用への貢献	2.75		2.25		2.25	
	環境対策の認定制度等	2.75		2.25		2.25	
地域の 守り手 確保	地域独自設定項目（各発注機関が独自に設定できる）	2.75	3.00	2.25	3.50	2.25	3.50
	【例】円滑な事業執行への貢献	2.75		2.25		2.25	
	その他	2.75		2.25		2.25	
地域建設業経営環境評価				2.00	2.00	2.00	2.00
計（満点）		31.50		30.25		20.25	
過去6ヶ月の措置 による減点	重要な瑕疵に伴う修補（損害賠償）請求を受けた事例あり			-1.00			
	総合評価方式において技術評価項目の不履行を行った事例あり			-1.00			

（注意：この表の内容は標準例です。建設管理部や工事によって異なります。）

- 総合評価落札方式では、
- 価格以外の要素も加味して落札者を決定。
 - 価格以外の要素には、過去2年(実績が無かったら4年や8年の場合も)の施工成績平均点も含む。



過去の工事施行成績は、総合評価でどう評価される？

工事施行成績	北海道発注工事の 当該工事と 同じ入札参加資格(一般土木とか舗装とか)の 過去の 工事施行成績の平均点 (小数第2位切り捨て) 平均点の対象期間は、 前年度の12/31から2年前まで (実績無ければ4年前まで) (専門工事型の場合は異なる場合あり)	93点 ≤ 平均点	7.50
		91点 ≤ 平均点 < 93点	7.00
		89点 ≤ 平均点 < 91点	6.50
		87点 ≤ 平均点 < 89点	6.00
		85点 ≤ 平均点 < 87点	5.50
		83点 ≤ 平均点 < 85点	5.00
		81点 ≤ 平均点 < 83点	4.50
		79点 ≤ 平均点 < 81点	4.00
		77点 ≤ 平均点 < 79点	3.50
		平均点 < 77点	3.00

別記第3号様式（施工計画審査タイプⅡ型）

【総合評価一般競争入札結果一覧表】

入札日

入札書比較価格	最大評価値
133,800,000	技術加算点 価格評価点 施工体制評価点
低入札価格調査基準価格(税別)	$29.00 + 30.81 + 15.00 = 74.81$
119,338,500	




業者名	価格以外の評価項目																		技術加算点計	入札価格 (円)	入札書比較価格以内	価格評価点	施工体制評価点	評価値 (技術加算点 + 価格評価点 + 施工体制評価点)	応札率	摘要			
	簡易な施工計画	企業の施工能力			配置予定技術者		担い手の育成・確保				地域の守り手確保				経営環境評価	減点項目													
	工程管理	品質管理	施工上の対応	工事施行成績	優秀業者表彰	ISOの取得	地域精進度	配置技術者①	CPDの証明	現場代理人表彰	技術職員の育成確保	新卒の雇用	雇用環境取組等	仕事と家庭の両立支援	主たる営業所	災害時の協力	緊急時の応急措置	公共施設の維持		重要な瑕疵	不履行								
配点	5.00	5.00		7.50	0.50	0.50	1.50	1.00	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	1.00	0.25	0.25	0.50	3.00		29.00								
A社	2.50	5.00		6.50	0.00	0.50	1.50	1.00	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	1.00	0.25	0.25	0.50	2.40	0	0	24.40	131,300,000	○	21.86	15.00	61.26	98.1%	2
B社	5.00	2.50		7.50	0.00	0.50	1.50	1.00	0.50	0	0.50	0	0.50	0.50	1.00	0.25	0.25	0.50	2.40	0	0	24.40	131,000,000	○	22.09	15.00	61.49	97.9%	1落札
C社	2.50	0		7.50	0.00	0.50	1.50	1.00	0.50	0	0.50	0	0.50	0.50	1.00	0.25	0.00	0.50	3.00	0	0	19.75	133,000,000	○	20.59	15.00	55.34	99.4%	5
D社	5.00	2.50		7.50	0.00	0.00	1.50	1.00	0.50	0	0	0	0.50	0.50	1.00	0.25	0.25	0.50	1.80	0	0	22.80	130,700,000	○	22.31	15.00	60.11	97.7%	3
EJV	2.50	2.50		7.50	0.00	0.50	1.50	1.00	0.50	0	0.25	0	0.25	0.50	1.00	0.25	0.25	0.25	2.40	0	0	21.04	132,400,000	○	21.04	15.00	57.19	99.0%	4
F社	0	0		7.50	0.00	0.50	1.50	1.00	0.50	0	0	0	0	0	1.00	0.25	0.25	0.25	2.40	0	0	14.20	129,500,000	○	23.21	15.00	52.41	96.8%	6

もし、
工事成績の評価点
が変わると、
落札者が変わってしまう！

凡例 各列内の順位

	1位
	2位
	3位

もし、
工事成績の評価点
が変わると、
落札者が変わってしまう！

凡例	各列内の順位
	1位
	2位
	3位

成績評定をつけるときには...

成績評定は、

「公正」 かつ 「内容を問われた場合説明できる」

ようにしてください！

別紙2-1 (土木用)

『施工プロセス』のチェックリスト

1. 工事名 工事 機関名:
 2. 工期 年 月 日～ 年 月 日 担当 所 長 名:
 3. 施工業者 監督員名:

①「施工プロセス」チェックリストは、共通仕様書、契約書等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に施工されているかを工事監督員が確認する。
 ②チェック欄では、書類もしくは現場等で確認した月日、及びその内容がOKであれば□にシマークを記入し、OKでなければ、備考欄に指示事項や是正状況等を記入する。
 ③用語の定義については、契約後：当初契約後、変更後：I期に行う契約変更後とする。

(1/3)

検査項目	確認項目	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	チェック時期 (指示事項)					備考 (指示事項及びその是正状況等)
			着手前	施工中	完成時			
1 施工体制	1 契約	・契約締結の14日以内に、契約工程表が提出された。 (契約後、変更後)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	
	2 品質管理	・社内検査員の身分 (資格)、経歴等が書面 で確認できる。適正である。 ・工事途中及び検査時の事前には社内検査員より、出来形、品質及び写真管理等 (数量も含む) 確認を十分に行い、その結果を書面により 提示した。 (施工時適宜)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	
	3 現場代理人	・現場代理人は、現場に常駐している。 (施工時 1回/月程度)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	
	4 専門技術者の配置	・建設業法第20条の2に定める専門技術者を 配置している。 (施工計画時、施工時適宜)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	
2 施工管理	5 作業主	・現場作業において、労働安全衛生規則に定 める作業主任者を選任し、配置している。 (施工計画時、施工時適宜)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	
	6 現場監督	・施工に先立ち、監督工又は検査員をもって 工事を進めている。 (施工時適宜)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	
	7 現場監督	・施工管理を受託している現場監督員との対 応が適切に行われている。 (施工時適宜)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	
	8 設計図書	・契約書第17条第1項第1号から第5号に 掲げる設計図書の内容を元に行っている。 (着手前、施工時適宜)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	

別紙2-2 (土木用)

『施工プロセス』のチェックリスト

(2/3)

検査項目	確認項目	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	チェック時期 (指示事項)					備考 (指示事項及びその是正状況等)
			着手前	施工中	完成時			
1 施工管理	9 設計図書	・施工 (変更を含む) に先立ち、提出した。 (着手前、変更時) ・記載内容と現場施工方法と一致している。 (施工時適宜) ・記載内容 (作業手順書等) と現場施工体制 が一致している。 (施工時適宜) ・記載内容が、設計図書・現場条件等を反映 している。 (着手前、変更時)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	
	10 施工管理	・工事材料の資材の整理及び確認がされ、管 理している。 (施工時適宜) ・品質管理確保のための対策など施工に關 する工夫を計画で確認できる。 (施工時適宜) ・作業の出来形、品質管理が書面にて確認で きる。 (施工時適宜)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	
	11 検査 (確認を含む) 及び 中間検査	・工事監督員の見合いにあたって、あらかじめ 立合会を開いている。 (施工時適宜) ・段階確認の確認時期が、適切である。 (施工時適宜)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	
	12 工事の 着手	・工程の計日より30日以内に工事に着手 (測量、 準備工事等) した。(O図資、工機製作等 特別な場合を除く) (着手時)	(<input type="checkbox"/>)					
2 施工管理	13 文書及び 図資	・受領予定14日前までに、品名、数量、品質、 規格又は性能を記した要求書を提出した。 (施工時適宜)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	
	14 建設資 材及び 建設機械	・資材者は、産業廃棄物管理票 (マニフェ スト) により適正に処理されていることを確認 し、工事監督員に提示した。 (施工時適宜) ・再生資源利用計画書及び再生資源利用促進 計画書も所定の様式に基づき作成し、施工計 画書に添付提出した。 (施工時適宜) ・実施書の提出を受けた (施工後)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	
	15 指定建設 機械の確認	・指定建設機械 (排出ガス対策型・燃費効率 型・低騒音型建設機械) を使用している。 (施工時 1回程度)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	
	16 工程管理	・履行状況を所定の工事スケジュールの様式で作 成し、提出した。 (施工時適宜) ・定められた施工時間等の変更や休日又は夜 間の作業について、あらかじめ承認書を提出 した。 (施工時適宜)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	

『施工プロセスチェック』について 2

別紙2-3 (土木用)

『施工プロセス』のチェックリスト

(3/3)

検査項目	確認項目	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	チェック時期 (指示事項)					備考 (指示事項及びその是正状況等)
			着手前	施工中	完成時			
2 施工管理	17 工程管理 (続き)	・工程の管理において機械、人員等の確保等 を現場の進捗の実態を元に行っている。 (施工時適宜) ・現場条件変更への対応、進捗調整を積極的に 行い、その報告を書面で行った。 (施工時適宜) ・作業員の休日の確保を行った記録が整理さ れている。 (施工時適宜)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	
	18 安全対策	・災害防止協議会等を設置し、活動記録がある。 (施工時適宜) ・店社パトロールを実施し、記録がある。 (施工時) ・安全・訓練等を実施し、記録がある。 4時間/月程度 (施工時適宜) ・施工現場での安全対策の記録、作業前打ち 合わせ (Tool Box Meeting)、危険予知 (KY) 等を実施し、記録がある。 (施工時適宜) ・新規入場者教育を実施し、記録がある。 (施工時適宜) ・道徳教育防止に取組んでいる記録がある。 (施工時適宜) ・使用機械、車輛等の点検整備等が管理され、 記録がある。 (施工時 1回/月程度) ・重機操作で、誘導員配置や重機と人の行動 範囲の分離措置がなされた点検記録がある。 (施工時適宜) ・山登り、仮設橋等の設置後の点検及び管理 の記録がある。 (施工時適宜) ・足場や支保工の組立完了時や使用中の点検 及び管理がチェックリスト等により実施さ れ、記録がある。 (施工時適宜) ・保安施設等の設置・設置・管理が的確であり、 記録がある。 (施工時適宜) ・自然災害に対する防災体制が確立しており、 記録がある。 (施工時適宜)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	
	19 安全パ トロール の推進等 の取組	・各種安全パトロールでの指摘事項や是正事 項について、速やかに改善を図り、かつ関係 者に是正報告した記録がある。 (施工時適宜)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	
	20 関係機 関等	・関係官庁等との関係機関との折衝及び調整 をした記録がある。 (施工時適宜) ・地元住民等との施工上必要な交渉、工事の 施工に關する苦情対応を適切に行っている。 (施工時適宜) ・隣接工事又は施工上関係に關連する工事の 進捗等と相互に協力を行っている記録がある。 (施工時適宜)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)	

『施工プロセスのチェック』とは?

公共工事の品質確保のためには、現場における日常の出来形・品質管理は、工事の品質を左右する重要な部分であり、そのための適正な施工体制の確保が不可欠であり、関係法令、契約約款、共通仕様書等の遵守及び工事のプロセスにおける適正な管理が必要。

・「施工プロセス」チェックリストは、共通仕様書、契約書等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に施工されているかを工事監督員が確認する。

・チェック欄では、書類もしくは現場等で確認した月日、及びその内容がOKであれば□にシマークを記入し、OKでなければ、備考欄に指示事項や是正状況等を記入する。

工事施行成績評定に反映

様式-2K①

工事成績採点の審査項目別運用表における評価の視点

(共通・監督員用)

番号	関連	審査項目	細別	該当基準	評価対象項目	参照先	評価の視点及び採点方法の取扱い	備考(参考)
162	1	施工体制一般	I	全工事	施工計画書(変更計画書を含む)を工事着手前に提出している。	施工プロセスのチェックリスト	施工計画書が工事着手前に提出されているか。計画内容に変更が生じた場合、着手前に変更計画書が提出されているか。	共通仕様書 1-1-1-3 施工計画書を提出しなければならない。
2				全工事	施工計画書と現場の施工体制が一致している。	施工プロセスのチェックリスト	施工計画書に記載された施工体制どおり現場で施工され、現場条件の変化に対して、適切に対応している場合に評価する。	共通仕様書-施工計画書・施工管理-請負者は、契約図書に適合するよう工事を施工するために、施工管理体制を確立する。
3	166			全工事	作業分担と責任の範囲が施工体制台帳、施工体系図(200万円以上)もしくは施工計画書で確認できる。	施工プロセス	請負代金額が200万円以上の場合は、施工体系図や施工計画書の現場組織表等に作業分担と担当技術者名が記載されているかどうかで判断する。	国土交通省令及び「施工体制台帳の作成について」(H13.3.30国総建第83号)、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」、「施工体制台帳の活用に関する取扱いについて」(H18.3.9建請第1428号)
4	167			全工事	施工体制台帳、施工体系図(200万円以上)が整備され、施工体制図も現場に掲げられている。	現地確認 写真確認	施工体制台帳及び施工体系図が提出され、施工体系図が現場の見やすい場所に掲げられているかどうかで判断する。	共通仕様書-施工体制台帳及び施工体系図 施工管理基準→「施工体制台帳の活用に関する取扱いについて」(H18.3.9建請第1428号)により作成しなければならない。
5	168			全工事	工事カルテの登録(500万円以上)が監督員の確認を受けた上で契約後10日以内に行われている。	カルテ確認	「契約後10日以内(土・日・祝日を除く)」かどうかは、工事カルテ受領書で確認する。	共通仕様書-工事カルテ作成、登録
6	169			全工事	社内検査の時期、確認事項が工事全般にわたり良く把握されている。(社内体制が確立され、有効に機能している。)	施工計画書 報告書	張り検査、床版高確認、型枠検査、鉄筋径・配筋確認、不可視部分の出来形・品質確認等を各、各構造物毎、各施工段階毎に実施されているかどうかで判断する。	共通仕様書 1-1-1-46 施工計画書に記載し、提出しなければならない。報告書を提出しなければならない。
7	170			全工事	社内検査員の身分(社員)、経歴が確認でき適正である。		施工計画書に社内検査員の氏名、所属、身分(役職)、資格、経歴、検査箇所、検査数量等の記載及び資格証書の写しが提出されていることが確認できる場合に評価する。	共通仕様書-社内検査-当該工事の現場代理人、主任技術者以外の者であらかじめ指定した職以上にある者とする。
8				全工事	建設業許可標識、法令その他必要な標識を公衆の見やすい場所に掲示している。		標識は、建設業許可標識、建設業退職金共済制度適用事業主工事現場の標識、労災保険に関する標識についてチェックする。	「公共工事の入札及び契約の促進に関する法律」 共通仕様書-保険の付保及び事故の補償 建設業法第40条
9				全工事	緊急指示、災害、事故等が発生した場合の体制が整っている。		施工計画書で緊急指示、災害、事故等が発生した場合の体制が確認できる場合に評価する。	共通仕様書-施工計画書-請負者は、施工計画書に次の事項について記載しなければならない。 共通仕様書-工事中の安全確保、施工管理基準「参考」下請業者・労務管理安全衛生管理、安全衛生法第10条第1項「土木工安全施工技術指針」解説H13年改訂版
10				全工事	「施工プロセスのチェック」、「工事現場等における施工体制点検・確認要領」で指摘事項がなかった。		「施工プロセスチェックリスト」中の細別「施工体制一般」の3項目における指摘有無が判断対象である。「施工体制点検・確認要領」については、「施工体制チェックリスト」中の「施工体制台帳」～「工事カルテ」の各項目及び「一括下請チェックリスト」における指摘有無が判断対象である。「指摘なし」の場合は評価に値する。	
11			(d)		施工体制一般に関して、工事監督員が文書による改善指示を行った。		工事監督員が文書(施工協議簿)により改善指示を行った場合に該当。	共通仕様書-契約図書に基づく処理方法-請負者及び工事監督員は、契約図書に示された指示、承諾、協議、検査及び確認については、工事施工協議簿で行う。
12			(e)		施工体制一般に関して、工事監督員からの文書による改善指示に従わなかった。		工事監督員からの文書(施工協議簿)による改善指示に従わなかった場合に該当。	

『評価の視点』

評定者の違いにより、評価が異なる事がないよう、〈審査項目別運用表〉の具体的な評価方法を記載している。

※受注者には非公開。

評価情報	評定	各種帳票																																																
請負工事 <input checked="" type="checkbox"/> 監督員 <input checked="" type="checkbox"/> 施工体制一般 <input checked="" type="checkbox"/> 配置技術者 <input checked="" type="checkbox"/> 施工管理 <input checked="" type="checkbox"/> 工程管理 <input checked="" type="checkbox"/> 安全対策 <input checked="" type="checkbox"/> 対外関係 <input checked="" type="checkbox"/> 出来形 <input checked="" type="checkbox"/> 品質 <input checked="" type="checkbox"/> 主任監督員 <input checked="" type="checkbox"/> 総括監督員 <input checked="" type="checkbox"/> 検査員 <input checked="" type="checkbox"/> 中間・部分検査	評価項目 1. 施工体制 細別 I: 施工体制一般 評価の視点 2K01	工事 000																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>a</th> <th>b</th> <th>c</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>適切である。</td> <td>ほぼ適切である。</td> <td>他の事項に該当しない。</td> <td>やや不適切</td> </tr> <tr> <td colspan="3">該当 評価「評価対象項目」</td> <td>評価「評</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>施工計画書(変更計画書を含む)を工事着手前に提出している。</td> <td rowspan="12"> 施工 監督 員 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>施工計画書と現場の施工体制が一致している。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>作業分担と責任の範囲が施工体制台帳、施工体系図(全ての工事を対象)もしくは施工計画書で確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>施工体制台帳、施工体系図(全ての工事を対象)が整備され、施工体制図も現場に掲げられている。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>コリズの登録(500万円以上)が監督員の確認を受けた上で契約後10日以内に行われている。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>社内検査の時期、確認事項が工事全般にわたり良く把握されている。(社内体制が確立され、有効に機能している。)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>社内検査員の身分(社員)、経歴が確認でき適正である。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>建設業許可標識、法令その他必要な標識を公衆の見やすい場所に掲示している。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>緊急指示、災害、事故等が発生した場合の体制が整っている。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		a	b	c		適切である。	ほぼ適切である。	他の事項に該当しない。	やや不適切	該当 評価「評価対象項目」			評価「評	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工計画書(変更計画書を含む)を工事着手前に提出している。	施工 監督 員	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工計画書と現場の施工体制が一致している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	作業分担と責任の範囲が施工体制台帳、施工体系図(全ての工事を対象)もしくは施工計画書で確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工体制台帳、施工体系図(全ての工事を対象)が整備され、施工体制図も現場に掲げられている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コリズの登録(500万円以上)が監督員の確認を受けた上で契約後10日以内に行われている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社内検査の時期、確認事項が工事全般にわたり良く把握されている。(社内体制が確立され、有効に機能している。)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社内検査員の身分(社員)、経歴が確認でき適正である。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	建設業許可標識、法令その他必要な標識を公衆の見やすい場所に掲示している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	緊急指示、災害、事故等が発生した場合の体制が整っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
a	b	c																																																
適切である。	ほぼ適切である。	他の事項に該当しない。	やや不適切																																															
該当 評価「評価対象項目」			評価「評																																															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工計画書(変更計画書を含む)を工事着手前に提出している。	施工 監督 員																																															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工計画書と現場の施工体制が一致している。																																																
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	作業分担と責任の範囲が施工体制台帳、施工体系図(全ての工事を対象)もしくは施工計画書で確認できる。																																																
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工体制台帳、施工体系図(全ての工事を対象)が整備され、施工体制図も現場に掲げられている。																																																
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コリズの登録(500万円以上)が監督員の確認を受けた上で契約後10日以内に行われている。																																																
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社内検査の時期、確認事項が工事全般にわたり良く把握されている。(社内体制が確立され、有効に機能している。)																																																
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社内検査員の身分(社員)、経歴が確認でき適正である。																																																
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	建設業許可標識、法令その他必要な標識を公衆の見やすい場所に掲示している。																																																
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	緊急指示、災害、事故等が発生した場合の体制が整っている。																																																
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																	

(令和2年4月1日以降に完成する工事から適用されています)

改正の主なポイント

・工事書類作成にあたり、書類の見栄えにつながると考えられる評価項目を廃止又は改正しました。

→書類の見栄え等は評価の対象としないようにしてください。

→完成検査等における留意事項

完成検査等は、共通仕様書や写真管理基準等に定められている範囲での関係書類を対象に行うものとし、定められた以上の資料の提示を求めないとともに必要以上の書類作成を理由とした評価は行わないようにしてください。

施行成績評価の留意事項

漁港浚渫工事、取壊し工事

工事施行成績評価における評価方法について（平成24年12月26日、事務連絡）
漁港浚渫工事の施行成績評価における留意事項について（平成27年5月7日、事務連絡）

（上記通知の再周知）緊急・応急工事、漁港浚渫工事、取壊し工事の工事施行成績評価における評価方法について（令和2年12月14日、事務連絡）

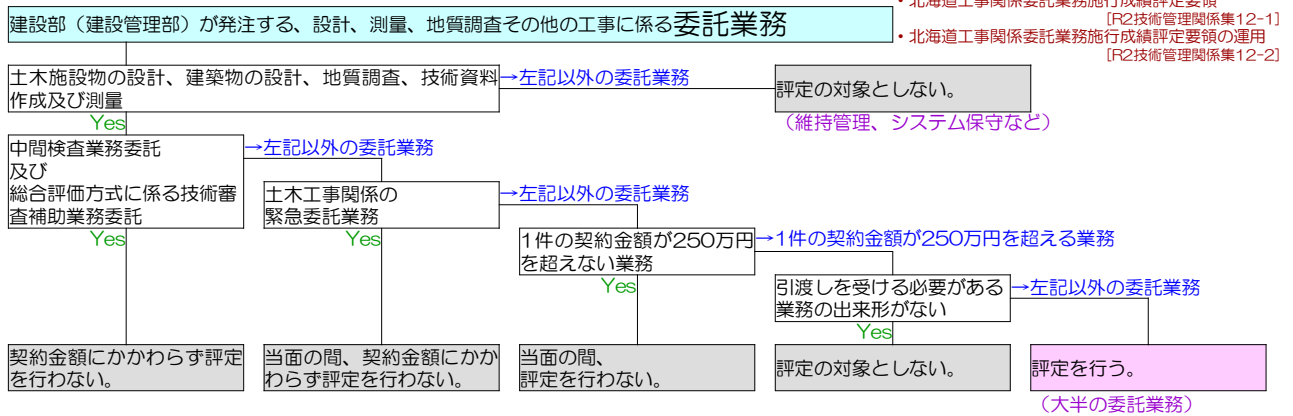
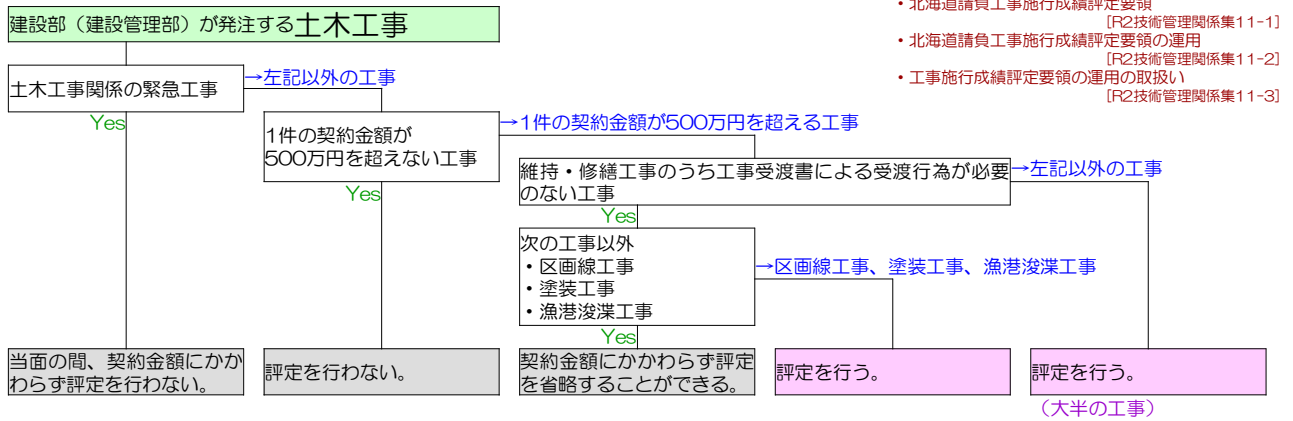
	「出来形」	「品質」
漁港浚渫工事	<p>→仕様書の施工管理基準では下限値を設定されていないが、ばらつき評価用の下限値を設定して評価。 （評定用の下限値：計画高さ－1200mm）</p> <p>（例）浚渫した深さが、計画高から600mm深い範囲内に収まっていれば、a評価（$-600\text{mm} = -1200\text{mm} \times 50\%$）</p>	<p>→「品質」に代わり、「施工特性」で評価 【別シート使用】</p>
取壊し工事	<p>・通常規模（特殊な仮設が不要） →c評価</p> <p>・下部工のみの取壊しなど →下部工撤去後の地盤高さに対して、土工の出来形管理基準（基準高±50mm）を準用して評価</p> <p>・橋梁上部工のみの取壊しなど →「施工順序の遵守」「安全確認」の観点で評価 【別シート使用】</p>	<p>→「品質」に代わり、「施工特性」で評価 【別シート使用】</p>

（緊急工事は、当面の間評定しません。）

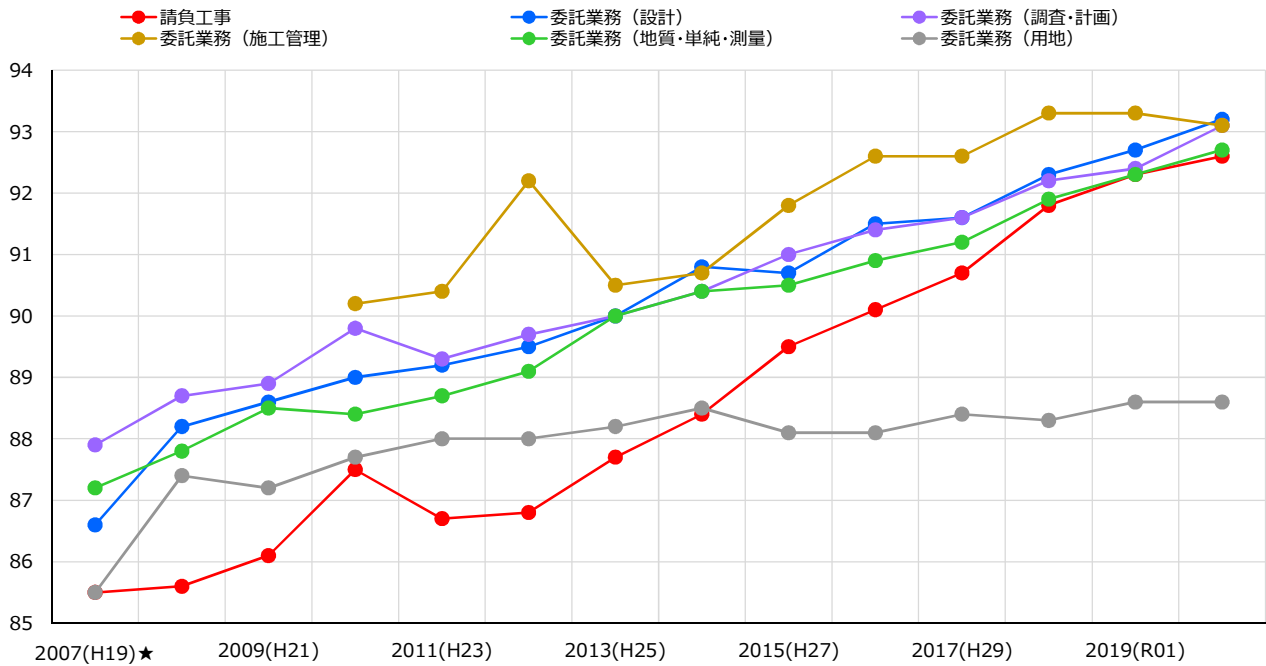
【委託】橋梁点検・診断業務

橋梁点検・診断業務における施行成績評価について
（平成27年7月29日付事務連絡）

橋梁点検・診断業務は、「調査業務、計画業務」として評価。



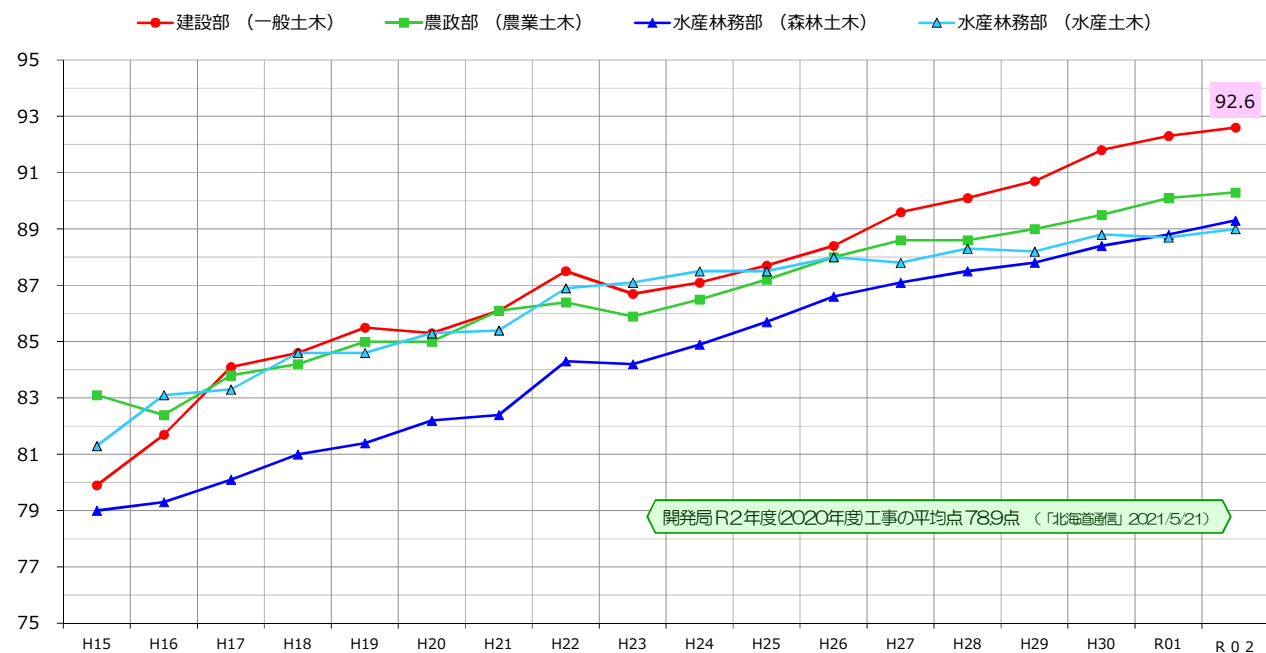
メモ



H19の主な改定内容
請負工事
・重要なかし：減点20点
・軽微なかし：減点無し
・総合評価方式ペナルティの項目を追加

H22の主な改定内容
請負工事
・高度技術から工事特性
・評価の細分化
・社会性等の追加
・評定者の配分比率の変更
・評定内容の明確化
※国交省と評価項目が同一

H30の主な改定内容
請負工事
・週休二日の確保で加点
(最大点が100→101点)

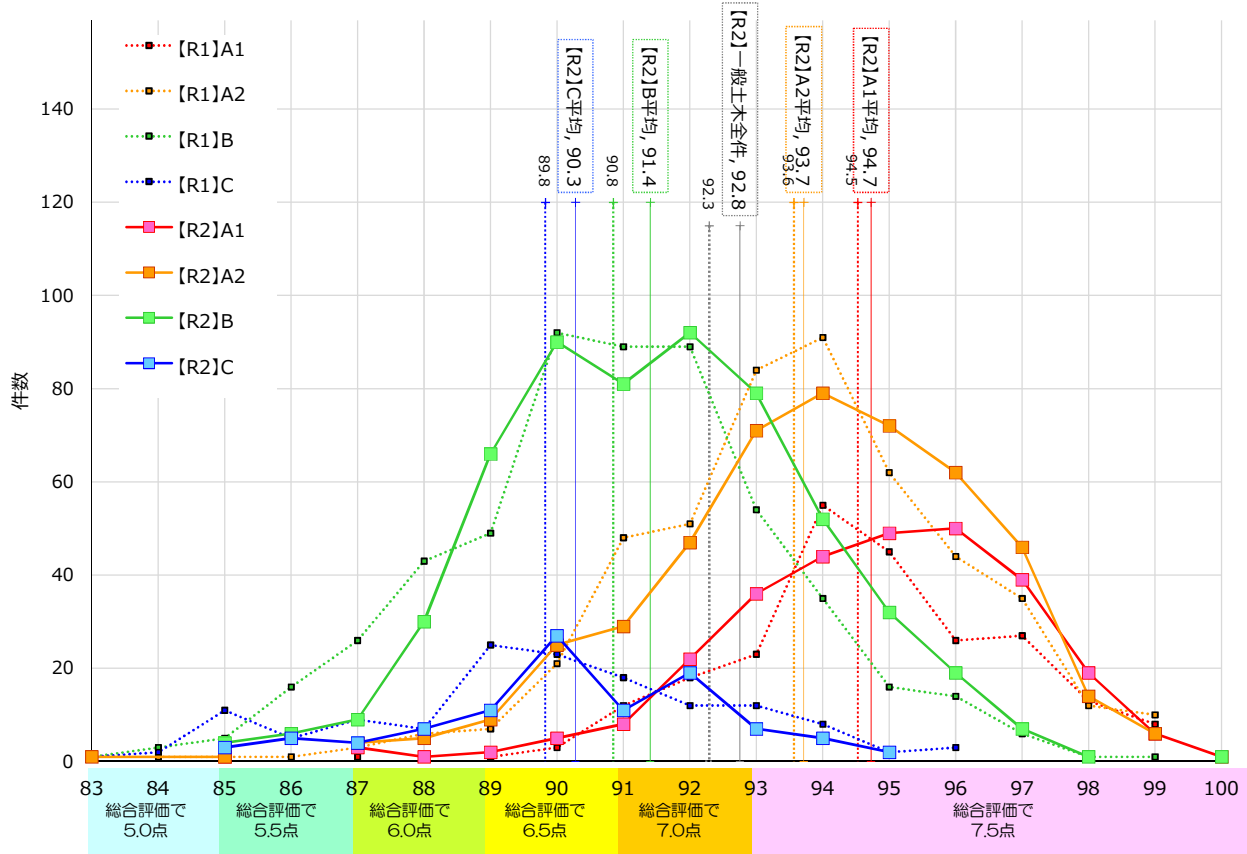


H19の主な改定内容
請負工事
・重要なかし：減点20点
・軽微なかし：減点無し
・総合評価方式ペナルティの項目を追加

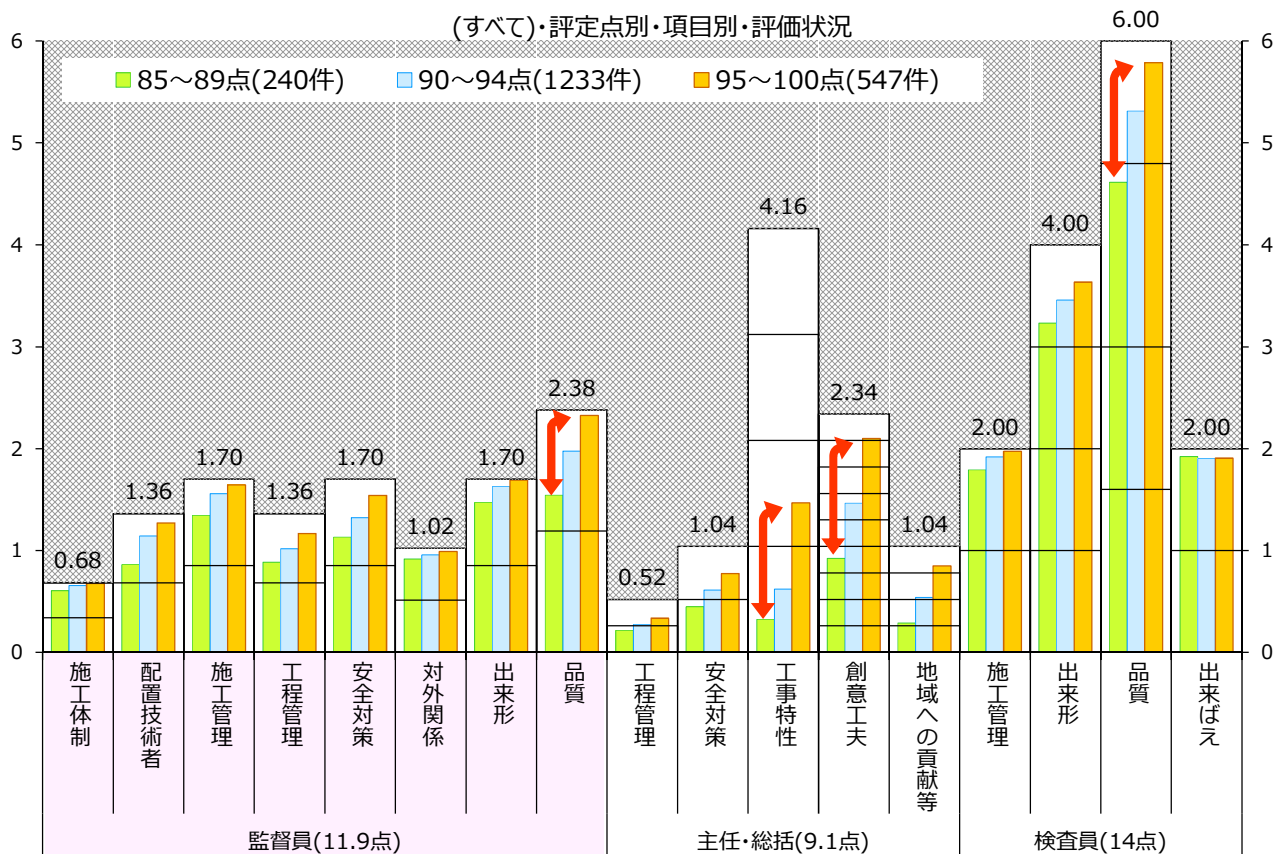
H22の主な改定内容
請負工事
・高度技術から工事特性
・評価の細分化
・社会性等の追加
・評定者の配分比率の変更
・評定内容の明確化
※国交省と評価項目が同一

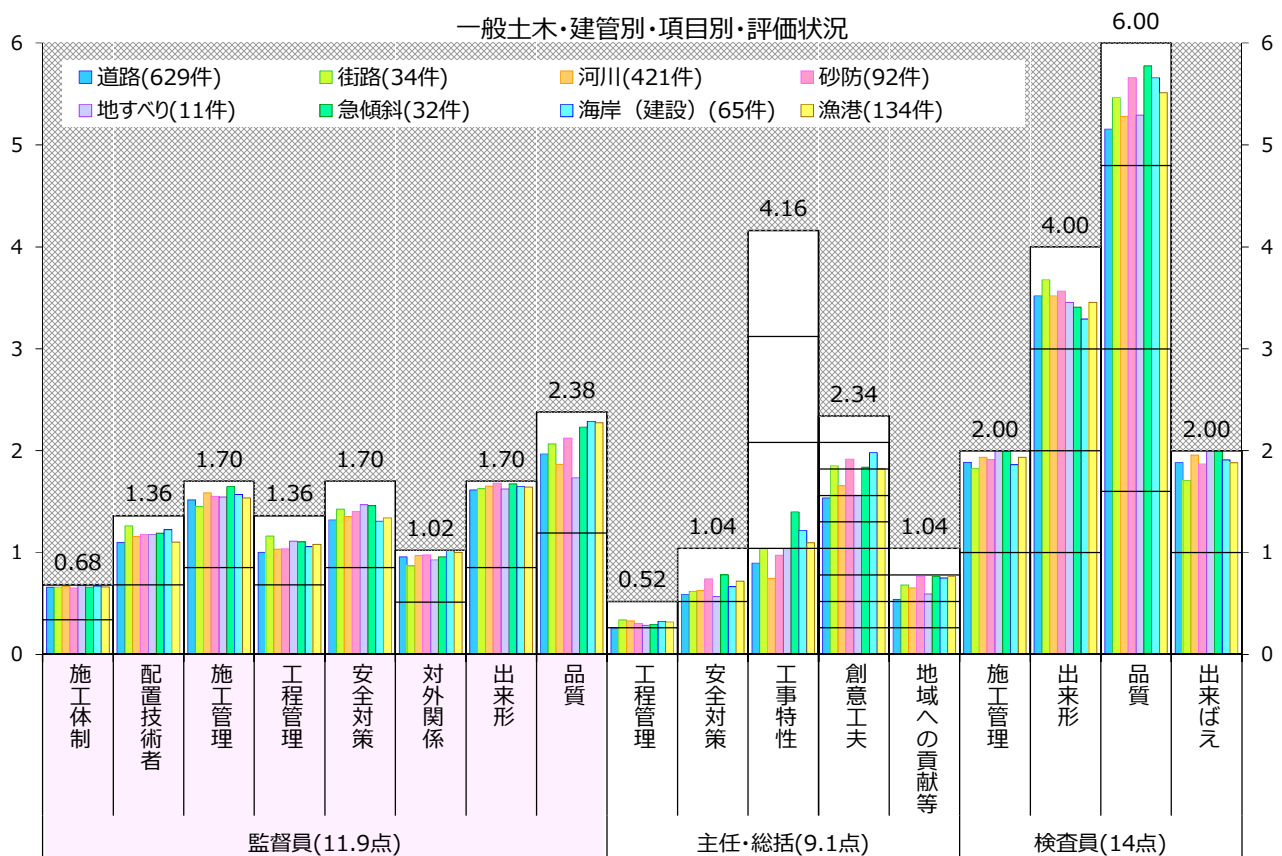
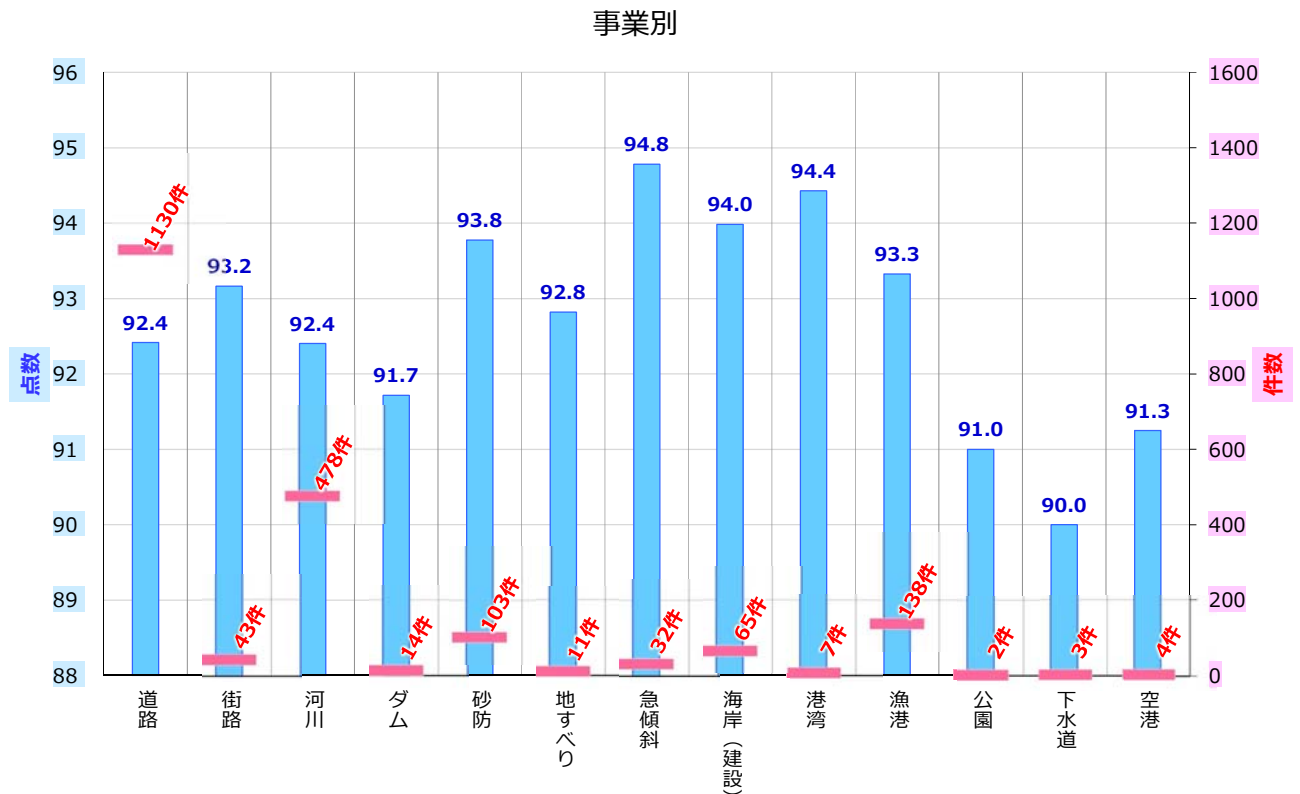
H30の主な改定内容
請負工事
・週休二日の確保で加点
(最大点が100→101点)

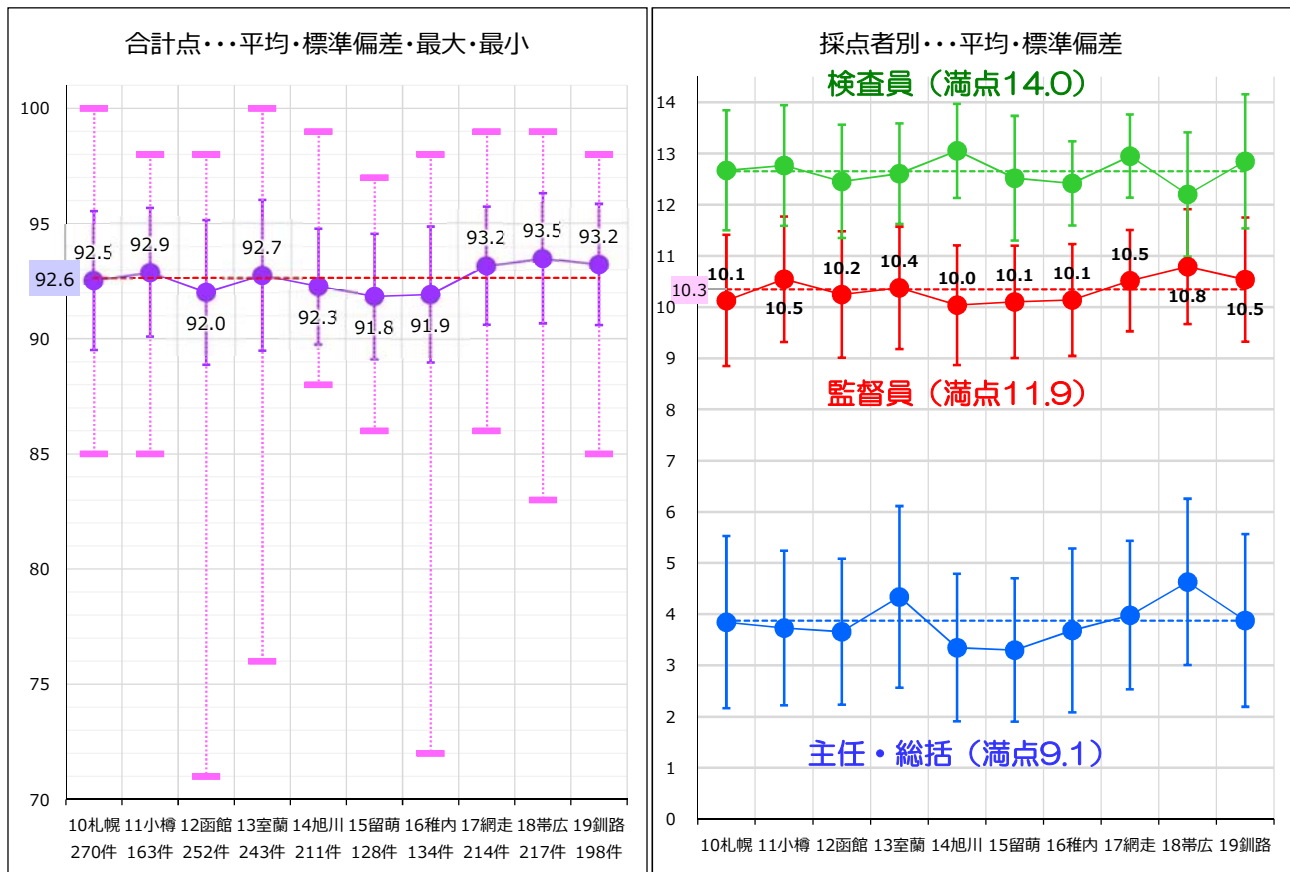
R2(2019)→R2(2020)工事施行成績【一般土木のみ】



差がついた評価項目(高得点工事)(RO2)

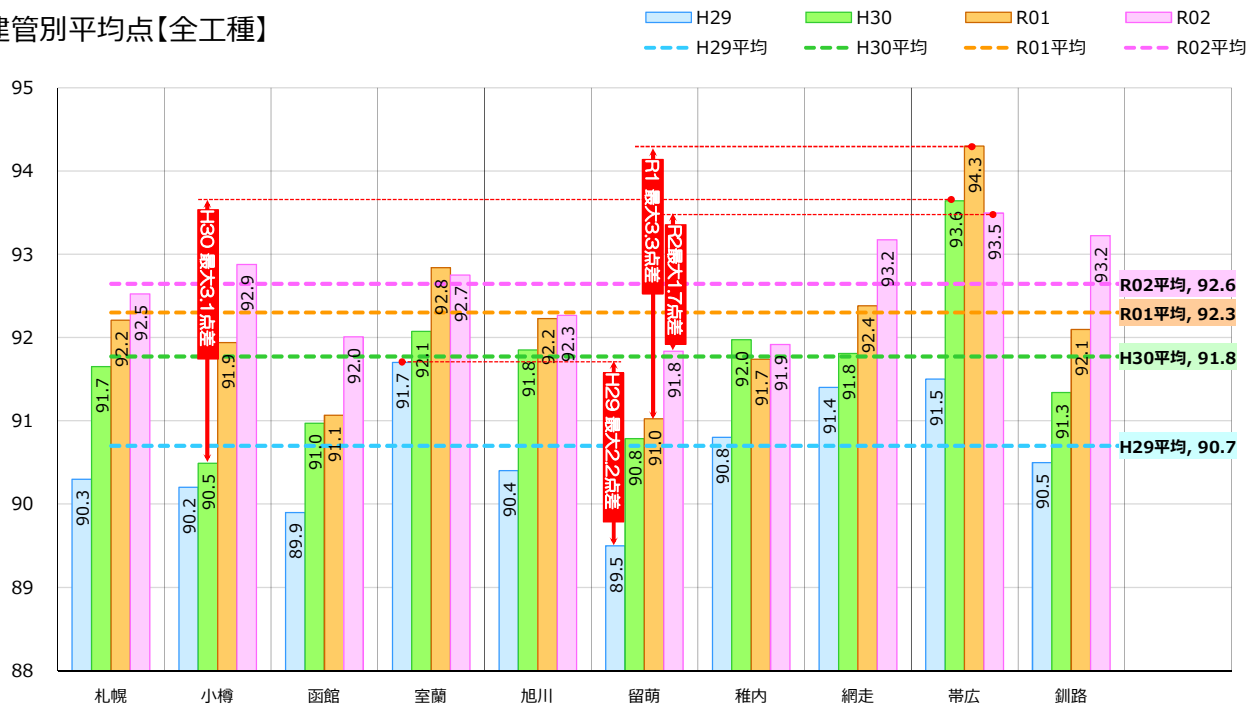




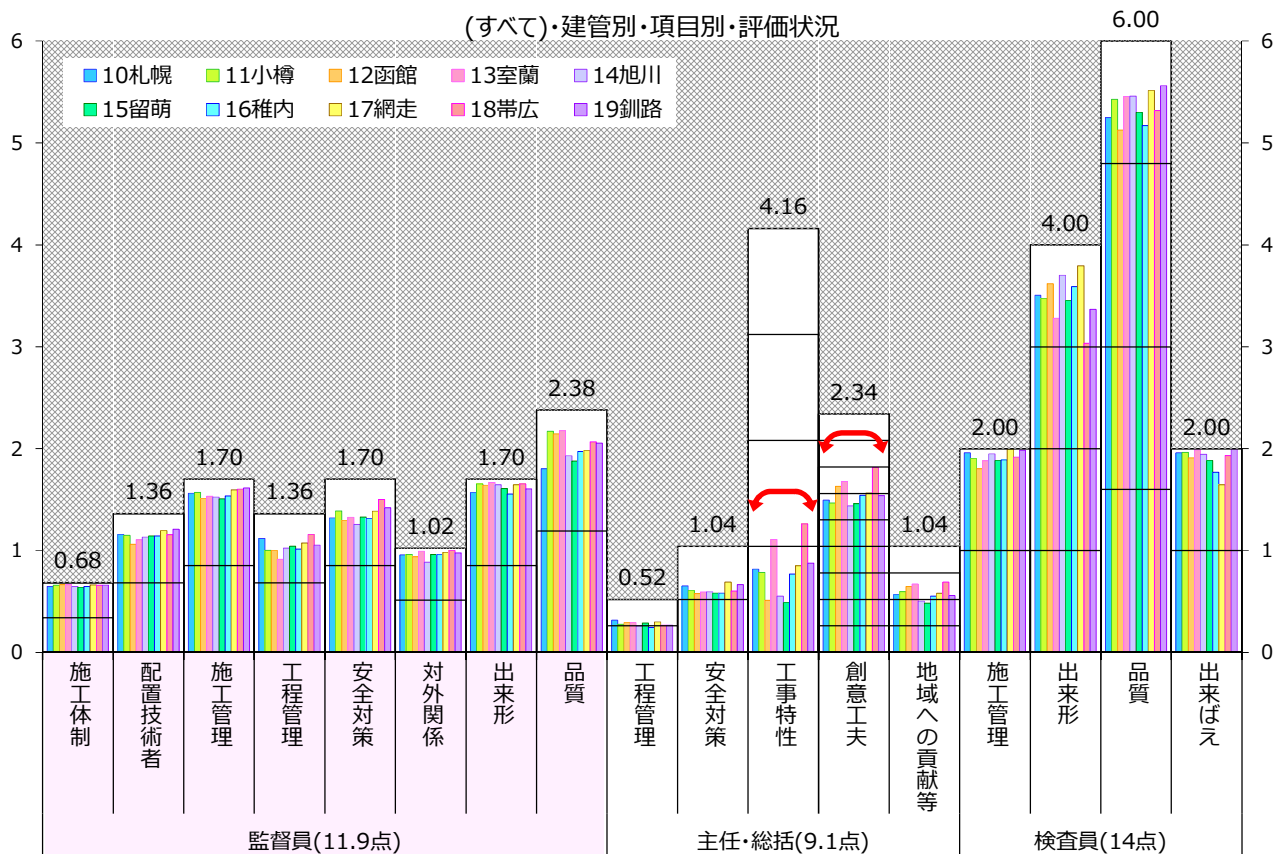
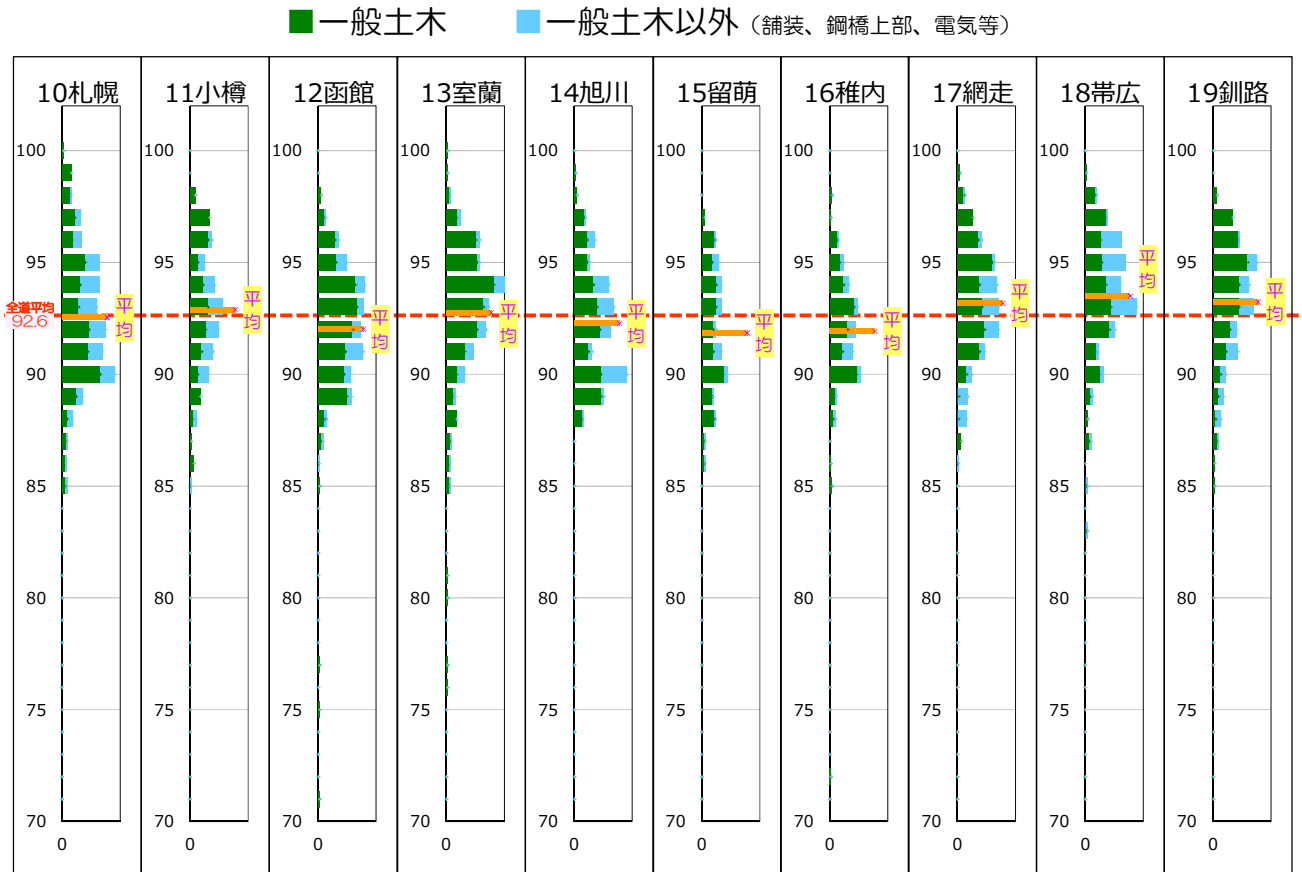


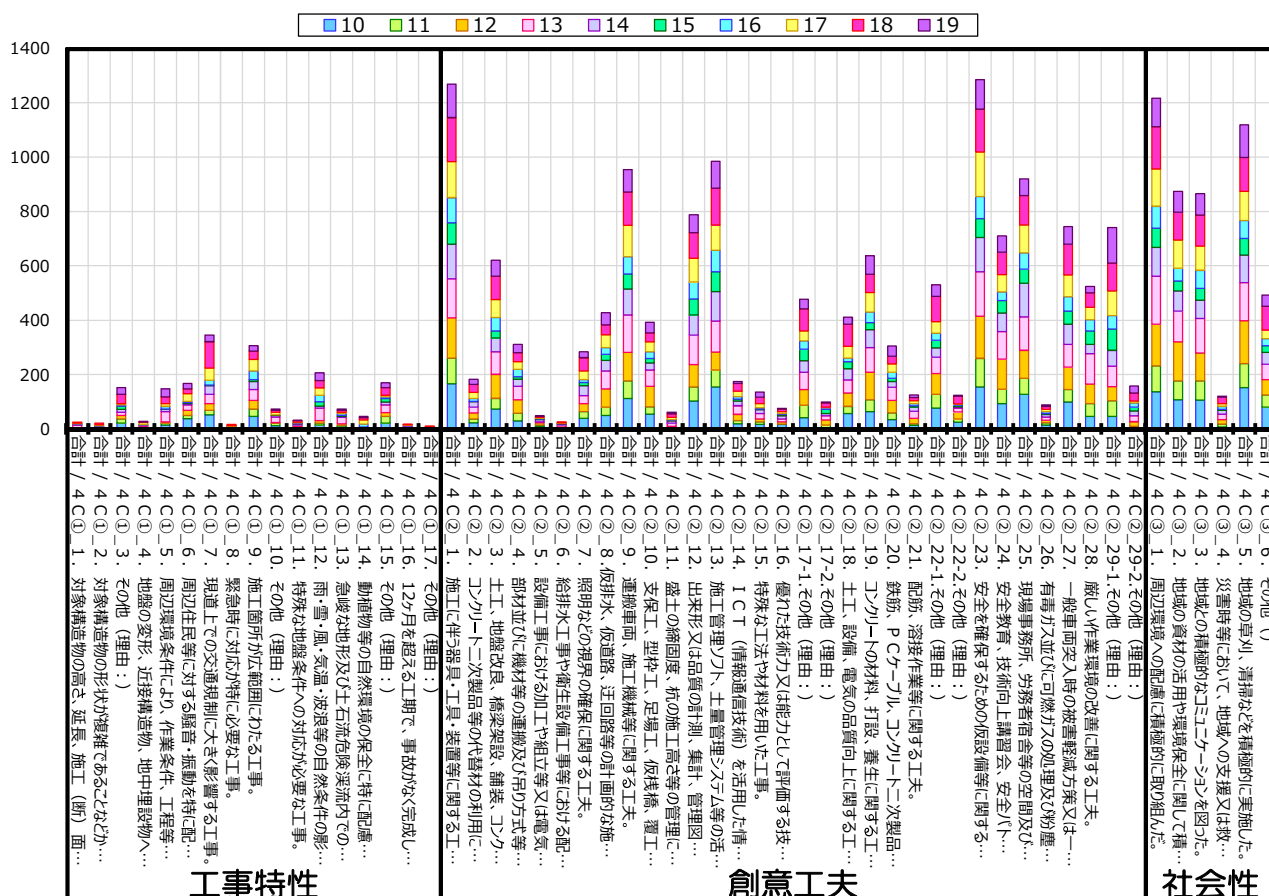
建管別平均点

建管別平均点【全工種】



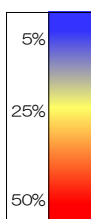
建管間の差	最高	最低	差
H29(2017)	室蘭 91.7	留萌 89.5	2.2
H30(2018)	帯広 93.6	小樽 90.5	3.1
R01(2019)	帯広 94.3	留萌 91.0	3.3
R02(2020)	帯広 93.5	留萌 91.8	1.7





各建管の 評価率

$$\frac{\text{評価工事数}}{\text{全工事数}}$$



同じ項目でも、
建管によって
評価率に差？

	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	総計
	270件	163件	252件	243件	211件	128件	135件	214件	217件	197件	2030件
工事特性	4 C ① 1. 対象構造物の高さ、延長、施工（断）面積、施工深度等の規模が特殊な工事。	0%	2%	0%	4%	1%	1%	1%	0%	1%	0%
	4 C ① 2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事。	1%	0%	1%	0%	1%	1%	2%	3%	0%	1%
	4 C ① 3. その他（理由：）	8%	10%	5%	5%	5%	9%	3%	15%	13%	7%
	4 C ① 4. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事。	1%	1%	2%	0%	1%	0%	1%	4%	1%	1%
	4 C ① 5. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事。	5%	4%	2%	16%	4%	1%	7%	5%	11%	7%
	4 C ① 6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事。	14%	7%	8%	8%	2%	2%	4%	13%	8%	8%
	4 C ① 7. 現道上での交通規制に大きな影響を与える工事。	19%	10%	10%	14%	16%	1%	13%	21%	45%	13%
	4 C ① 8. 緊急時に対応が特に必要な工事。	1%	2%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	2%	0%
	4 C ① 9. 施工箇所が広範囲にわたる工事。	17%	17%	12%	16%	14%	5%	24%	20%	14%	10%
	4 C ① 10. その他（理由：）	4%	6%	1%	8%	3%	2%	0%	4%	4%	3%
	4 C ① 11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事。	2%	1%	1%	2%	2%	2%	1%	1%	3%	1%
	4 C ① 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事。	5%	5%	4%	19%	3%	13%	17%	13%	12%	15%
	4 C ① 13. 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事。	3%	3%	2%	10%	2%	2%	5%	2%	3%	4%
	4 C ① 14. 動物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事。	0%	3%	0%	0%	0%	0%	8%	7%	4%	3%
	4 C ① 15. その他（理由：）	8%	16%	5%	12%	5%	10%	4%	3%	13%	9%
	4 C ① 16. 12ヶ月を超える工期で、事故がなく完了した工事（全面一時中止期間は除く）。	1%	0%	0%	3%	0%	0%	2%	1%	1%	0%
	4 C ① 17. その他（理由：）	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	0%
創意工夫	4 C ② 1. 施工に伴う器具・工具・装置等に関する工夫又は設備撤付後の試運転調整に関する工夫。	62%	58%	59%	59%	60%	62%	68%	62%	74%	63%
	4 C ② 2. コンクリート二次製品等の代替材の利用に関する工夫。	9%	9%	9%	9%	9%	2%	11%	13%	10%	9%
	4 C ② 3. 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫。	27%	24%	35%	34%	24%	20%	37%	31%	40%	29%
	4 C ② 4. 部材並びに構材等の運搬及び吊り方等の工夫に関する工夫。	11%	17%	20%	20%	12%	7%	20%	13%	16%	15%
	4 C ② 5. 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。	3%	4%	3%	1%	4%	2%	2%	2%	2%	1%
	4 C ② 6. 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の連結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。	1%	2%	1%	2%	2%	2%	0%	1%	1%	0%
	4 C ② 7. 照明などの視界の確保に関する工夫。	14%	15%	12%	12%	18%	9%	7%	15%	23%	11%
	4 C ② 8. 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫。	19%	18%	27%	27%	18%	17%	19%	22%	17%	23%
	4 C ② 9. 運搬車両、施工機械等に関する工夫。	41%	39%	42%	56%	45%	43%	47%	54%	57%	42%
	4 C ② 10. 支保工、型枠工、足場工、仮橋脚、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。	20%	17%	30%	25%	12%	13%	19%	17%	15%	20%
	4 C ② 11. 盛土の締固め、杭の施工高さ等の管理に関する工夫。	1%	1%	2%	5%	4%	3%	1%	4%	6%	3%
	4 C ② 12. 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。	38%	32%	33%	44%	35%	46%	47%	41%	43%	34%
	4 C ② 13. 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫。	57%	39%	26%	47%	52%	57%	59%	43%	63%	50%
	4 C ② 14. I C T（情報通信技術）を活用した情報化施工を取り入れた工夫。	7%	7%	9%	13%	8%	5%	7%	9%	13%	4%
	4 C ② 15. 特殊な工法や材料を用いた工夫。	6%	6%	4%	9%	7%	2%	3%	7%	11%	10%
	4 C ② 16. 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工夫。	6%	1%	3%	5%	6%	4%	2%	3%	5%	1%
	4 C ② 17-1. その他（理由：）	15%	28%	23%	26%	20%	33%	23%	17%	37%	18%
	4 C ② 17-2. その他（理由：）	1%	7%	8%	7%	4%	12%	4%	1%	7%	2%
	4 C ② 18. 土工、設備、電気の高品質向上に関する工夫。	21%	16%	20%	19%	20%	20%	10%	20%	38%	13%
	4 C ② 19. コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。	24%	26%	40%	37%	31%	20%	29%	34%	31%	35%
	4 C ② 20. 鉄筋、P Cケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。	13%	15%	18%	20%	10%	9%	16%	14%	13%	19%
	4 C ② 21. 配筋、溶接作業等に関する工夫。	5%	4%	8%	11%	7%	4%	7%	5%	6%	5%
	4 C ② 22-1. その他（理由：）	29%	31%	31%	25%	16%	22%	19%	20%	43%	21%
	4 C ② 22-2. その他（理由：）	9%	7%	11%	6%	2%	4%	3%	0%	13%	2%
	4 C ② 23. 安全を確保するための仮設措置等に関する工夫。（落下物、墜落、転落、挟まれ、看板、立入禁止帯、手すり）	57%	65%	62%	67%	60%	54%	60%	77%	72%	55%
	4 C ② 24. 安全教育、技術向上講習会、安全（ハット）等（リスクアセスメントの実施を含む）に関する工夫。	35%	32%	44%	42%	32%	36%	24%	30%	38%	30%
	4 C ② 25. 現場事務所、労働者宿舍等の空間及び設備等に関する工夫。	47%	36%	41%	51%	58%	41%	44%	48%	50%	31%
	4 C ② 26. 有るがス並びに可搬ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。	5%	6%	4%	5%	4%	3%	5%	4%	5%	3%
	4 C ② 27. 一般車両突入時の被害軽減対策又は一般交通の安全確保に関する工夫。	37%	28%	33%	35%	35%	38%	39%	37%	52%	33%
	4 C ② 28. 厳しい作業環境の改善に関する工夫。	17%	28%	29%	46%	17%	38%	30%	21%	24%	12%
	4 C ② 29-1. その他（理由：）	17%	36%	21%	31%	27%	62%	36%	43%	47%	66%
	4 C ② 29-2. その他（理由：）	1%	4%	7%	9%	8%	11%	12%	3%	14%	13%
社会性	4 C ③ 1. 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。	51%	58%	61%	72%	50%	55%	59%	64%	72%	53%
	4 C ③ 2. 地域の資材の活用や環境保全に関して積極的に取り組んだ。	40%	42%	57%	47%	36%	29%	34%	49%	47%	39%
	4 C ③ 3. 地域との積極的なコミュニケーションを図った。	39%	44%	40%	52%	32%	34%	50%	42%	53%	40%
	4 C ③ 4. 災害時等において、地域への支援又は救済活動への積極的な協力を行った。	3%	6%	6%	9%	6%	3%	8%	5%	11%	2%
	4 C ③ 5. 地域の尊厳、清掃などを積極的に実施した。	56%	54%	63%	58%	48%	48%	49%	50%	58%	60%
	4 C ③ 6. その他（理由：）	30%	28%	23%	23%	21%	19%	19%	15%	41%	20%